

ちょっと見せて
あなたの
キタのクラシ

こだわりの ベランダ づくり Balcony

おうちでアウトドア気分を味わえる
ベランピングを楽しむ方が増えています。
今回は読者の方のお宅のこだわりのベランダを覗いてみます。



高台にあるので景色がよく、夏には花火が見られるということで、2階リビングに直結の広いバルコニーを設けました。ここでBBQを楽しみたいと思っています。景色を楽しむために透明の手すりを採用したので、解放感も抜群です



さやかさん



Point 1
くつろぎの
アウトドアリビング
屋外用のソファがあり、景色を楽しみながらくつろげる空間。「今後は観葉植物なども置きたいです」とさやかさん。

おうちの中にもこだわりポイントが満載!

Point 2 DIYで設置した ハンモックチェア

さやかさんの強い要望で設置したというハンモックチェア。遊びに来る子どもたちにも大好評なのだそう。



Point 3
スキー板を
ディスプレイ
夫婦共通の趣味であるスキー。「板は見せる収納にしたいね」と夫婦で意見が一致し、このような壁面収納に。



北海道の暮らしがもっと楽しく、好きになる。

キタのクラシ

おうち時間が増えた昨今、
家づくりも、今よりさらにこだわりたい。
北国に住む私たちの暮らしが
もっと快適になる家づくりのポイントを
プロに聞きました。



ウィズコロナの時代の 家づくりのポイント

コロナ禍でおうち時間が増えたことにより、家づくりやリフォームの場面において「今までは違った空間を作りたい」というニーズが大きく高まっているといわれています。そんなウィズコロナの時代の家づくりについて

住宅設備にも浸透する 非接触という考え方

「非接触」という言葉が多く聞かれるようになった今、家づくりの場面においてもその需要が高まっています。宮下さんがおすすめする非接触アイテムが「タッチレス水栓」です。自宅での料理をする人が増えている中、タッチレス水栓であれば汚れた手で触ることなく操作でき、水栓を清潔に使用することができます。

「リフォームをしたい分野」にも変化が現れており、従来からニーズの高い浴室やキッチン、外壁のリフォームに加え、玄関ドアや窓を変えたり、さらに家の中の収納を増やしたりと、おうち時間を充実させるためのリフォーム需要も増えてきています。

「リフォームをした分野」にも変化が現れており、従来からニーズの高い浴室やキッチン、外壁のリフォームに加え、玄関ドアや窓を変えたり、さらに家の中の収納を増やしたりと、おうち時間を充実させるためのリフォーム需要も増えてきています。

は多くの方にご利用いただいております。特にご年配の方や小さなお子さんがいるお客さまは、1回目はオンラインで、具体的にイメージが固まってきたら実際にショールームに来られるという方も増えています」とのこと。安心安全に家づくりを進められるのはうれしいですね。

リフォームにも アウトドアブームの波

コロナの影響で外出自粛が続き、自宅の庭でバーベキューなどのアウトドアを楽しむ人が増えています。実際に、リクシルでは多くの方に「アウトドアブームの波」が押し寄せていると聞かれています。特にご年配の方や小さなお子さんがいるお客さまは、1回目はオンラインで、具体的にイメージが固まってきたら実際にショールームに来られるという方も増えています」とのこと。安心安全に家づくりを進められるのはうれしいですね。

- 1 「内窓インプラス」冬の寒さと夏の暑さに悩まされるリビングもたちまち快適空間に
- 2 「ガーデンルームGF」敷地条件やライフスタイルに合わせて、あなただけのガーデンルームが実現
- 3 「カーポートST」雪から暮らしを守る」という基本性能を追求しながら、こだわりの直線的な機能美
- 4 「リシェント玄関ドア3」1日で交換できる玄関ドア。断熱仕様のドアで毎日をもっと心地よく
- 5 「EW for Design」トリプルガラスの樹脂サッシ。高い断熱性能とこだわりのデザイン
- 6 「デッキDS」新開発の「濃淡製法」と「2度削り」で時を経た天然木の見た目と手触りを実現

取材協力
株式会社LIXIL 北海道支社
ショールームのご予約はこちらから
LIXILショールーム札幌
TEL.0570-783-632 (ナビダイヤル)



株式会社LIXIL
リフォーム推進部
宮下 理紗子さん



「北海道でオンラインなんて必要なのでは？」というお声を聞くこともありましたが、今では設備だけでなく、非接触で家づくりの相談ができる「オンラインショールーム」というサービスもあります。商品の説明やリフォーム相談など、住まいの悩みを自宅にしながら相談できるサービスです。「オンラインショールームを開始した当初は『北海道でオンラインなんて必要なのでは?』というお声を聞くこともありましたが、今では